



学校だより

令和4年度 第11号
発行日 2月4日
練馬区立大泉第二中学校
校長 関 基 雄

「昭和」をふりかえって感じたこと

校長 関 基 雄

最近テレビを見ていると昭和時代のものがよく取り上げられていると感じています。昭和の頃の歌とか昭和の頃にはやったことなどが取り上げられていると、つい懐かしく見てしまいます。昭和という時代は少し前のことだと思っていたのですが、その後の平成が30年続き、さらに令和の時代となったのですから「昭和は遠くなりけり」だどつくづく感じる次第です。

そんな昭和の頃のもので思い出したのは「自動車」のことです。昭和のころの自動車はみな個性的なデザインをしていました。そのため町を走っている自動車を見ても、「カローラだ、サニーだ、ファミリアだ、スカイラインかっこいいな」なんてすぐにわかりました。しかし、今の自動車は皆流線形で似た形なのでちょっと見ただけでは見分けがつきにくいと感じています。これはどこの会社もコンピュータなどのシミュレーションで風の影響を調べる流体力学などに基づいて設計しているためだと聞いています。そして、今はコンピュータという言葉ではなくAIの発達により生活の隅々まで電子化されて便利になりました。しかし、その一方で個性がなくなり均一化が進んでいるように感じています。

さて教育の世界でもICTの活用が一段と進むようになってきました。文部科学省も一人1台のタブレット端末を配付し、さらに今後はデジタル教科書の導入を進めるなど、ますますICTの活用が進んでいきます。確かにこれからの時代を考えると社会ではAIが発達し、ICTの活用能力は重要性を増し、ICTの活用能力を身に付けられているかどうか将来を左右するといっても過言ではないでしょう。しかし、ICTの活用が世界的な動きであっても、これまで日本の教育で培ってきたことにも大切なものはたくさんあります。例えば清掃活動をすること。以前アメリカの学校に視察に行った際に日本の学校で清掃活動があることを紹介すると驚いていました。きれいにするのは清掃員の人の仕事を奪うことになると考えているようで、自分たちできれいにしようという意識は感じられませんでした。しかし、今サッカーなどの世界大会などで日本人が競技場のごみ拾いをすることが世界的に称賛されています。こうした行動もそれぞれが学校生活で身に付いていた習慣であるから多くの日本人が取り組んでいるといえるのではないのでしょうか。また、栄養バランスを考えた給食を柱とする食育ということも海外ではあまり見られない大切な学校文化であると言えます。

このように、これからも何が大切なのかを考え、教育におけるICTの利活用という世界の大きな流れだけにとらわれずに取り組んでいくことを心掛けていきたいと考えています。

1月を振り返って

○ 1年生総合講演会

1月31日(火)に障害をもつ方のことを理解するために、「ベルナのしっぽ」の著者郡司ななえさんをお招きして「盲導犬と拓いた私の世界」のテーマで体験を話していただきました。郡司さんは27歳で全盲となり、盲導犬をパートナーとして生活しています。当時は犬嫌いだった郡司さんの最初の盲導犬ベルナとの出会いから始まり、今まで「子供」となった盲導犬たちとの生活、そしてお別れについて話してくださいました。盲導犬についてあまり知らなかった町の方々も、地道な努力の積み重ねで理解し受け入れてくれるようになっていったそうです。生徒からのたくさん質問にも丁寧に答えてくださいました。人生にはいろいろなことがあるが、心に4つの種(あきらめない・努力・工夫・勇気)をもって生きていくようにと励ましていただきました。

○ 生徒会活動

- ・1月16日(月)～20日(金)に行われた「キャップ杯」は、優勝1年C組、準優勝3年B、先生チームは9位でした。全校で約2万個が集まり、ワクチン23本を寄付することができます。ご協力ありがとうございました。
- ・1月23日(月)～27日(金)に中央委員会による「あいさつ運動」が行われました。とても寒い毎日でしたが、校門で元気な声が交わされていました。
- ・2月13日(月)～17日(金)には“私たちの手で一つでも多くの命を救いましょう！”をスローガンとして「ユニセフ募金」が行われます。ご協力をお願いいたします。

2月の活動予定

○ 2年職場体験

2月9日(木)と10日(金)の2日間、職場体験を実施します。3年ぶりで受け入れて下さる事業者を探すのに苦労しましたが、52箇所の事業所がご協力してください。2年生全員が職場体験をさせていただきます。2日(木)には体験させていただく事業者をそれぞれ訪問して、事前の打ち合わせをさせていただきました。実際に働く体験を通して、働くことの喜びや厳しさなど知る貴重な機会です。また、仕事をしている方と接して、働くことの意義や目的など勤労観を考える良いときとなることを期待しています。いろいろなことを学び感じて帰ってきてほしいと思います。

お知らせ

○ 桜の木の伐採・剪定

毎年春に見事な花を咲かせ皆様に親しまれてきました校庭の桜ですが、樹木診断の結果、幹の空洞率50%以上で倒木のおそれがある木が10数本あることが分かりました。そのため、大変残念ではありますが、安全のために伐採を行います。まず、空洞率が70%以上で倒木の危険性の高い2本を2月に伐採します。他の木は枝の剪定をして幹の負担を軽減しておき、花の季節後の5月以降に伐採する予定です。伐採後、新たに植樹を数年かけて行う予定です。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

○ 部活動の声について

校庭から部活動をしている生徒達の「ファイト！」の大きな声を聞くと、元気をもらえる気がします。しかし、休日の早朝からの生徒の声はご迷惑なこともありますので、現在は体育祭等を除いて土日祝日の校庭の活動(貸し出しをしている外部団体を含む)については、朝9時までは声を出さずに活動することとしています。近隣の皆様にはできるかぎりご迷惑をかけないように取り組んでまいります。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【2月の主な予定】

- 6日(月) ジュニアリーダー申し込み締め切り
- 10日(金) 都内私立高校入試(始)
- 11日(土) 新入生標準服・体育着採寸14:30～
- 21日(火) 都立高校一般入試
- 24日(金)～28日(火) 第4回定期考査

